



合理性と効率性の追求における企業経営

令和7年5月3日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

西洋の合理主義は、企業経営の大きな進歩を与えるものである。今日の世界の西洋における絶対プレゼンスの根幹は彼らの有する合理主義であることは理解すべきである。

これら優れた生産性と効率性は今日デジタル革命において飛躍的な進歩を与え、それらが絶対的な自己プレゼンスを彼らに与えるものである。

これらグローバル経済の基準において企業経営を実現することは唯一未来における企業の生き残りの選択なのである。

これら新たな高い生産性や企業システムの構築は企業の自己プレゼンスを確固たるものとして実現するのである。

これらはグローバル企業が有する絶対的な強さであり、それら新規基準における企業の振り分けは今日の趨勢なのである。

これら世界の2分化は、勝ち組と負け組における世界の分断なのである。これらが飛躍的に大きな利益性を生み、新たな未来の実現を提案するのである。

これらは夢想する新しい未来への参加の条件が、勝利という現実であることは理解されなくてはいけない。

これらは競争原理という現実を有する西洋が直面する新しい現実であり、彼らはその勝利を自己に有するのである。

これらは西洋という現実が提案する合理主義と競争原理における世界の終焉である。それらにおいて世界を有するのは勝利なのである。

そして、それは歴史における永遠の原理原則である。勝者が常に世界を有し、未来を行うのである。